



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月15日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゼットン

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木伸典

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 森充 TEL 03-6416-4820

四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,973	△17.6	△790	—	247	—	136	—
2021年2月期第2四半期	2,395	△58.0	△942	—	△951	—	△699	—

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 142百万円 (—%) 2021年2月期第2四半期 △716百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	28.29	—
2021年2月期第2四半期	△161.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	5,042	292	5.8	60.48
2021年2月期	3,541	149	4.2	30.91

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 292百万円 2021年2月期 149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	0.00			
2022年2月期（予想）			—	—	—

(注) 2022年2月期の配当予想につきましては、現時点では適正かつ合理的な業績の見通しが困難であることから、開示をしておりません。業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年2月期の連結業績予想につきましては、現時点において、新型コロナウイルス感染症が当社グループへ及ぼす影響を見極めることは困難であることから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	4,829,600株	2021年2月期	4,829,600株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	1,234株	2021年2月期	1,234株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	4,828,366株	2021年2月期2Q	4,316,491株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたってのご注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き景気は低迷しており、コロナ禍以前の経済への回復まで、依然として時間を要する状況であります。外食業界におきましても、度重なる緊急事態宣言、酒類提供飲食店への休業要請等により、先の見えない状況が継続しております。

こうした環境の中、当社グループにおきましては、日本国内においては、長く続く行政からの各種要請に従い、雇用調整助成金及び感染拡大防止協力金の申請を進めながら、徹底休業と時短営業の2本の軸にて対応をしてまいりました。アルコールニーズが高いビジネス街のエリアでは徹底休業に舵を切り、食事や空間を楽しむニーズが高い繁華街・住宅街エリアでは、ノンアルコールでも十分に楽しめるメニューの拡充に取り組みながら、最小限の営業を進めてまいりました。酒類の提供自粛要請の中でも、これまで培ってきたブランド力を最大限生かすことで、今後のアフターコロナにおける新しい飲食店のあり方の可能性を感じております。特に注力したのが、2021年7月より、アロハテーブル事業において、“リアル・ハワイ”を掲げたりブランディングを開始しております。その一環として、ハワイ州観光局公認プログラム「111-HAWAII AWARD」3年連続1位を受賞し、殿堂入りを果たした人気メニュー「プレミアム・ロコモコ」を含むワイキキ本店のメニューをハワイアン・カフェ&ダイニング「アロハテーブル」全店及び「SURF SIDEKITCHEN」にて導入いたしました。ハワイに行きたくても行けない皆様にも、より一層“リアル・ハワイ”を感じていただけ、これまで以上にお客様のご支援をいただいております。

一方で、米国ハワイ州にて事業を運営しております連結子会社のZETTON, INC. は、日本よりワクチン接種が遙かに進んでいたことを背景に経済の回復が早く、2021年4月より営業を再開しており、業績も高水準にて推移しております。加えて、米国政府による経済救済措置のための助成金給付に向けていち早く申請手続きを行い、早期に助成金を得たことで、向こう約1年程度の運転資金及び今後の新規事業への投資資金を確保いたしました。

引き続き、厳しい環境下ではありますが、当社グループの持つブランド力を最大限に生かしながら、創業時からの企業理念「店づくりは、人づくり。店づくりは、街づくり。」はアフターコロナ、ウィズコロナの新しい時代においてこそ、ぶれる事のない普遍の理念であるという決意を新たに、持続可能な社会の実現と永続的な企業価値の向上を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)の連結業績につきましては、売上高1,973百万円(前年同期比17.6%減)、営業損失790百万円(前年同期は営業損失942百万円)、経常利益247百万円(前年同期は経常損失951百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益136百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失699百万円)となりました。

※店舗数については、当期間において1店舗の減少により、当第2四半期末の店舗数は、直営店69店舗(国内63店舗、海外6店舗)、F C店5店舗の合計74店舗となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,501百万円増加の5,042百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が130百万円減少したものの、現金及び預金が685百万円、日本国内の助成金計上により未収入金が957百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,358百万円増加の4,750百万円となりました。これは主に、米国子会社の助成金計上により前受金が977百万円、有利子負債が387百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ142百万円増加の292百万円となりました。これは主に、利益剰余金が136百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ685百万円増加し、1,210百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、331百万円（前年同期は896百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益、助成金の受取額等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、43百万円（前年同期は430百万円の支出）となりました。これは主に、差入保証金の差入による支出及び有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、373百万円（前年同期は1,461百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月14日付「2021年2月期決算短信[日本基準]（連結）」において公表いたしましたとおり、現段階において新型コロナウイルス感染症の収束時期、また、当社グループへ及ぼす影響を見極めることは困難であることから、2022年2月期の連結業績予想につきましては未定としており、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,860	1,210,486
売掛金	55,501	94,268
商品	896	733
原材料及び貯蔵品	67,849	79,323
前払費用	73,038	79,032
未収入金	270,865	1,228,245
その他	10,003	9,593
流動資産合計	1,003,015	2,701,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,596,490	3,618,936
減価償却累計額	△1,675,166	△1,756,272
減損損失累計額	△563,896	△562,781
建物及び構築物(純額)	1,357,427	1,299,882
車両運搬具	6,418	6,418
減価償却累計額	△3,444	△3,939
車両運搬具(純額)	2,974	2,479
工具、器具及び備品	1,195,369	1,214,257
減価償却累計額	△906,280	△966,297
減損損失累計額	△35,456	△34,903
工具、器具及び備品(純額)	253,632	213,056
リース資産	193,290	193,290
減価償却累計額	△153,672	△154,313
減損損失累計額	△38,949	△38,949
リース資産(純額)	668	27
建設仮勘定	3,823	9,034
その他	264	264
減価償却累計額	△122	△183
その他(純額)	142	81
有形固定資産合計	1,618,668	1,524,561
無形固定資産		
のれん	9,022	8,468
ソフトウェア	6,297	5,269
その他	23,543	23,390
無形固定資産合計	38,863	37,128
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
長期前払費用	3,724	3,010
差入保証金	407,147	436,972
繰延税金資産	469,085	338,448
その他	617	359
投資その他の資産合計	880,576	778,791
固定資産合計	2,538,107	2,340,481
資産合計	3,541,123	5,042,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,693	184,748
短期借入金	704,163	745,000
1年内返済予定の長期借入金	376,838	367,344
リース債務	1,060	64
未払金	226,945	166,394
未払費用	204,840	230,521
未払法人税等	82,147	68,107
未払消費税等	92,208	106,638
株主優待引当金	10,688	7,607
前受金	59,672	1,037,543
その他	73,650	66,383
流動負債合計	1,978,909	2,980,354
固定負債		
長期借入金	1,147,435	1,504,551
リース債務	59	59
資産除去債務	242,013	242,323
その他	23,468	22,869
固定負債合計	1,412,976	1,769,802
負債合計	3,391,886	4,750,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,288	561,288
資本剰余金	181,682	181,682
利益剰余金	△558,169	△421,566
自己株式	△217	△217
株主資本合計	184,583	321,186
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△35,346	△29,179
その他の包括利益累計額合計	△35,346	△29,179
純資産合計	149,237	292,007
負債純資産合計	3,541,123	5,042,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	2,395,088	1,973,550
売上原価	642,031	547,609
売上総利益	1,753,057	1,425,940
販売費及び一般管理費	2,695,352	2,216,311
営業損失(△)	△942,295	△790,370
営業外収益		
受取利息	18	10
為替差益	-	4,914
助成金収入	-	1,051,651
その他	6,100	4,564
営業外収益合計	6,118	1,061,140
営業外費用		
支払利息	7,669	14,818
為替差損	6,640	-
その他	921	8,704
営業外費用合計	15,231	23,523
経常利益又は経常損失(△)	△951,408	247,246
特別利益		
保険解約返戻金	3,374	-
受取補償金	12,763	-
特別利益合計	16,137	-
特別損失		
店舗閉鎖損失	2,535	-
特別損失合計	2,535	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△937,805	247,246
法人税、住民税及び事業税	4,116	4,730
法人税等還付税額	-	△24,125
法人税等調整額	△242,729	130,038
法人税等合計	△238,613	110,643
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△699,192	136,603
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△699,192	136,603

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△699,192	136,603
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△17,226	6,167
その他の包括利益合計	△17,226	6,167
四半期包括利益	△716,419	142,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△716,419	142,770

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△937,805	247,246
減価償却費	151,888	129,817
のれん償却額	1,146	1,148
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△9,034	△3,081
受取利息及び受取配当金	△18	△10
支払利息	7,669	14,818
為替差損益(△は益)	6,640	△4,914
店舗閉鎖損失	2,535	-
助成金収入	-	△1,051,671
保険解約損益(△は益)	△3,474	-
受取補償金	△12,763	-
売上債権の増減額(△は増加)	△150,084	△38,678
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,353	△10,031
未収入金の増減額(△は増加)	-	△134,889
その他の流動資産の増減額(△は増加)	36,857	1,873
仕入債務の増減額(△は減少)	△44,215	37,597
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,730	14,430
その他の流動負債の増減額(△は減少)	104,158	59,623
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△7,566	△1,930
その他	△23,373	△9,701
小計	△904,525	△748,354
利息及び配当金の受取額	18	10
助成金の受取額	-	1,121,538
利息の支払額	△7,773	△14,674
法人税等の支払額	-	△27,089
保険金の受取額	3,474	-
補償金の受取額	12,763	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△896,042	331,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△468,554	△19,290
無形固定資産の取得による支出	△3,575	-
貸付けによる支出	△1,043	△500
貸付金の回収による収入	908	802
差入保証金の差入による支出	△19,301	△27,713
差入保証金の回収による収入	56,932	1,586
その他	3,692	1,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△430,941	△43,598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	838,165	40,837
長期借入れによる収入	857,785	507,506
長期借入金の返済による支出	△230,326	△174,329
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,360	△996
その他	△36	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,461,226	373,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33,458	24,775
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,783	685,625
現金及び現金同等物の期首残高	789,200	524,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	889,983	1,210,486

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大や緊急事態宣言の再発令、酒類提供禁止等の営業制限が繰り返される中、当社グループは引き続き一部の店舗を除いて休業等の対応を継続しております。ワクチン接種等による収束の兆しも一部で垣間見られるものの、現在も当社グループの業績に大きな影響を与えております。

当社グループは、現状において入手可能な外部情報等を含め、総合的に検討を行い、当該感染症の影響は2022年2月期まで継続する一方で、2023年2月期以降については、当該感染症の拡大依然に近い状況まで回復するとの仮定に基づき、会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損等）を行っておりますが、前連結会計年度の見積りの前提から重要な変更はありません。

なお、上記仮定については、現時点における判断であり、今後における当該感染拡大の状況や経済環境への影響等が当該仮定と乖離する場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

(重要な後発事象)

(米国連結子会社における融資実行および同融資の債務免除益について)

米国におきまして、米国中小企業庁が主体となり、新型コロナウイルス感染症による経済破綻を防ぐために、中小企業が給与支給用の資金を維持し労働者の雇用を継続できるよう、融資の形をとった救済措置「PPP (Paycheck Protection Program) ローン」が設けられました。当該融資（以下「PPPローン」）は、給与をはじめ、住宅ローンの利子、家賃、公共料金等、COVID-19に関連する労働者保護に係る費用に充当でき、一定の雇用・給与維持の条件を満たせば、債務返済および利息の支払いが免除される仕組みであります。

当社の連結子会社であるZETTON, INC. (米国) におきまして、第1回および第2回のPPPローン申請手続きを行い、それぞれ1,464,500米ドル、1,913,383米ドルの借入を実行しております。

この度、同社は2021年9月時点で、第1回PPPローンの債務返済および利息支払いが免除された旨の決定通知を受領いたしました。このため、2021年8月末時点の長期借入金のうち、1,464,500米ドル（約163,906千円）について、2022年2月期第3四半期にて、債務免除益として特別利益に振替を行う方針です。なお、第2回PPPローンについても、現在、債務返済および利息支払い免除の審査中であります。